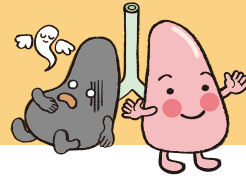


覚えておきたい「がん」のこと

第1回 ～肺がんについて～



肺がんとは？

肺がんとは、気管支や肺胞の細胞遺伝子に何かしらの原因により傷がつくことで発生します。主な危険因子として考えられるものは喫煙で、喫煙者は非喫煙者の4.5倍肺がんになるリスクが高くなるとされています。

肺がんは中心型（肺門型）と末梢型（肺野型）の2種類に分けられます。中心型（肺門型）肺がんは喫煙との関係性が深く、肺の入り口の太い気管支に発生するがんです。末梢型（肺野型）肺がんは肺の奥にある細い気管支や肺胞などに発生するがんで、非喫煙者であっても多く発生するタイプの肺がんです。

肺がんのり患率と死亡数

肺がんは日本人のがんによる死亡数の第1位であり、年間で男性は53,247人、女性は22,338人の方が亡くなっています。また、男性は10人に1人、女性は21人に1人の方が一生のうちに肺がんと診断されています。

肺がん治療について

当院で行っている治療方法は、大きく分けて手術療法、放射線療法、抗がん薬を用いる化学療法の3種類があります。それぞれ単独で治療を行う場合と各療法を組み合わせる治療を行う場合があり、患者さまごとに適切な治療法を選択します。また、一人一人の遺伝子異常の情報に基づき、治療効果を予測して治療法を決定する個別化治療も行っています。

出典・日本医師会ホームページ「健康の森肺がん」 <https://www.med.or.jp/forest/check/cancer/lung/02.html>
 ・人口動態統計2020年(厚生労働省大臣官房統計情報部編) https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei20/dl/11_h7.pdf
 ・日本医師会ホームページ「肺がんの罹患率と死亡数」 <https://www.med.or.jp/forest/gankenshin/type/lung/what/>

第1回 スモークフリーシティをめざして(全4回)

禁煙外来にて禁煙治療を行っている当院はスモークフリーシティをめざす吹田市の取り組みに賛同し、その一環として当広報誌において、スモークフリーの記事を掲載していきます。



吹田市は
スモークフリーシティを
めざしています。



スモークフリー = たばこの煙のない状態 のこと

喫煙者本人の健康を守ることをはじめ、みんなが健康で安心して暮らせるまちづくりのために、吹田市は市民・事業者のみなさまと共にスモークフリーシティの実現をめざします。

スモークフリーシティの実現には、一人ひとりの意識が大切です

あなたに「スモークフリー」を知ってもらうことが、
スモークフリー実現への第一歩に繋がります！

平素より市立吹田市民病院だよりをご愛読いただきありがとうございます。
ご意見がございましたら市立吹田市民病院までご連絡ください。

●編集・発行 市立吹田市民病院 広報委員会

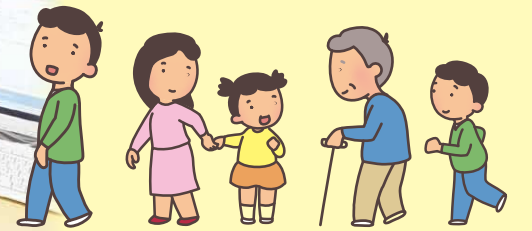
吹田市民病院 だより No.81



〒564-8567 吹田市岸部新町5番7号
TEL (06)6387-3311
FAX (06)6380-5825
メール shomu@mhp.suita.osaka.jp
ホームページ
<https://www.suitamhp.osaka.jp>

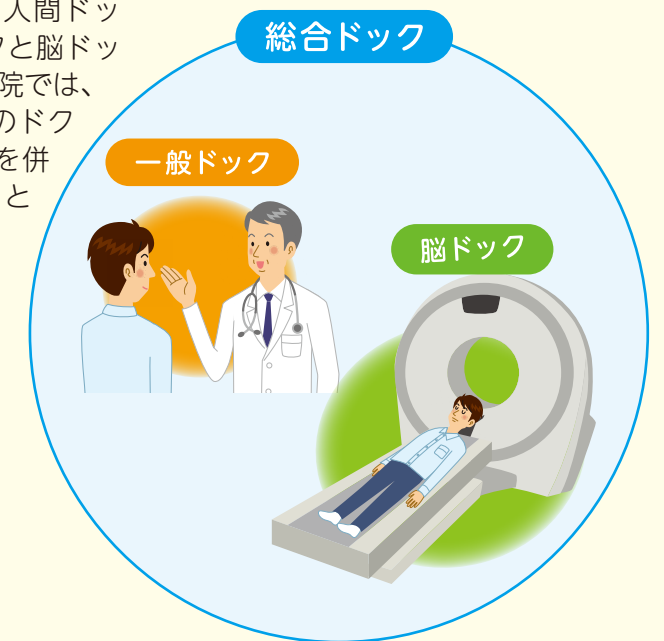


人間ドック受診で 健やかな生活を…



当院の人間ドックについて

当院では、完全予約制で健康チェックができる「人間ドック」を3コース（一般ドック、脳ドック、一般ドックと脳ドックをセットにした総合ドック）をご用意しています。当院では、内科・放射線科・耳鼻咽喉科・眼科等それぞれ専門のドクターが診断を行います。また、保健指導や栄養指導を併せて行うことで、健康で過ごすためのきっかけづくりとしてもお役立ていただけます。



人間ドック・健診センター長からのご挨拶



呼吸器・リウマチ科
(診療局長)

片田 圭宣
かた だ 圭 宣

高齢化社会を迎える中で、元気に生きられる期間『健康寿命（健康問題がない状態で日常生活を送れる期間）』を伸ばしていくことが、おおきな課題となっています。

JR岸辺駅前の吹田・摂津両市にまたがるエリアは、北大阪健康医療都市「健都」として、国立循環器病研究センターを中心に、医療イノベーションの創出と健康寿命の延伸をリードする、モデル都市となることを目指しています。ここ健都で総合病院として、みなさまの健康を守る市立吹田市民病院では、健都の理念に謳われる、先駆的な健康づくり、生きがいつくりの取組に呼応して「人間ドック」の事業も行なっております。市民とともに心ある医療を行い、予防医学にも貢献してまいります。

私どもの「人間ドック」の特徴は、実際に最新の医療を行なっている病院のスタッフによって健診が行われていることです。結果のご説明も臨床を行なっている医師からさせていただいております。平成30年に新築された当院で将来のご自身の健康のためにぜひ「人間ドック」をお受けください。

健やかに長く生きる

最近、マスコミでも「健康寿命」という言葉をよく耳にするようになってきました。従来から使われている「平均寿命」をのばすことだけでなく、どのように生きているのかが大切なのだということが広く認識されてきています。2020年における我が国の平均寿命は、男性が81.64歳、女性が87.74歳であり、50歳の平均余命は、男性が33.12年、女性が39.78年となっています。ところが「健康寿命」は男女共にこれより10年ほど短くなっているのです。



「健やかに長く生きていきたい」・・・ これを実現するために、人間ドックを受けましょう。

当院の人間ドックでは、主な生活習慣病（肥満、高血圧、脂質異常症、糖尿病、高尿酸血症など）のチェックを行い、メタボリックシンドロームの判定を行います。また、心電図や胸部レントゲン、胃カメラ、便潜血検査、眼科検診、耳鼻科検診などによって大きな病気のスクリーニングを行います。オプションとして、頭部MRIや胸部CT、骨密度、喀痰（かくたん）細胞診、各種腫瘍マーカーなどの検査も行っております。女性では、乳腺外科や婦人科検診も行っています。当院での人間ドック受診をご検討ください。

費用について

ドックの種類	費用
一般ドック	44,000円(税込)
脳ドック	41,800円(税込)
総合ドック(一般ドック+脳ドック)	66,000円(税込)

※オプション検査の項目等の詳細は当院ホームページをご確認ください。

お問い合わせ

電話：06-6387-3311（平日午前9時～午後5時）

こちらから当院の人間ドックに係る案内を確認いただけます。→



新任医師のご紹介



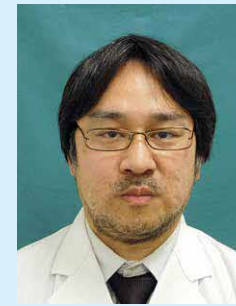
診療科 外科
専門 乳腺外科
吉岡 節子(部長)

コメント
4月から赴任いたしました。皆さまのお役に立てますよう努力する所存です。よろしくお願いいたします。



診療科 外科
専門 大腸・腹腔鏡手術・抗がん剤
廣瀬 創(部長)

コメント
大腸がんに対する集学的治療や拡大手術に積極的に取り組みたいと思います。腹部救急疾患や鼠経ヘルニアなどの良性疾患もいつでも対応いたします。



診療科 外科
専門 肝胆膵外科・腹腔鏡手術
桂 宜輝(医長)

コメント
主に肝胆膵外科（特に腹腔鏡）手術に従事してきました。これまでの知識と経験を活かして、皆さまのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



診療科 整形外科
専門 手の外科
手島 昌之(医長)

コメント
ばね指、手根管症候群、母指CM関節症や上肢の外傷などを中心に診察しております。よろしくお願いいたします。



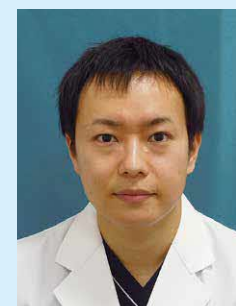
診療科 耳鼻咽喉科
専門 難聴・顔面神経
上塚 学(医長)

コメント
4月から赴任しました。フットワークの軽い耳鼻咽喉科医としてがんばります。よろしくお願いいたします。



診療科 血液内科
専門 血液
長谷川 千紘(医員)

コメント
4月より赴任いたしました。これからよろしくお願い申し上げます。



診療科 循環器内科
専門 動脈硬化
冠野 昂太郎(医員)

コメント
4月よりお世話になります。地域の医療に貢献できるよう力を尽くして参ります。よろしくお願いいたします。



診療科 脳神経内科
専門 神経変性疾患
佐木山 裕史(医員)

コメント
4月より赴任しました。神経内科医として皆さまのお役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



診療科 外科
専門 乳腺外科
橋爪 咲奈(医員)

コメント
4月から新しく赴任いたしました。今年度は研修医という立場から卒業となりましたので、より一層気を引き締めてまいります。よろしくお願いいたします。



診療科 腎臓泌尿器科
専門 ロボット手術・尿路変異
濱田 晃佑(医員)

コメント
4月から赴任しました。皆さまのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。